

澤乃井櫛かんざし美術館 から 細見美術館 へ—約5,000点の装身具が寄贈。
これを記念し、櫛かんざしの優品をはじめとする巧緻美しい装身具の数々、約200点をお披露目！

寄贈記念展 澤乃井櫛かんざしコレクション —美を継ぐ—

会期 2025年9月6日(土)～10月13日(月・祝)

細見美術館はこのたび、澤乃井櫛かんざし美術館より約5,000点の装身具の寄贈を受けたことを記念する展覧会を開催します。

本展では、尾形光琳や酒井抱一の銘がある櫛かんざしの優品をはじめ、世界各国の髪飾り、お洒落と実用を兼ねた笄迫・印籠・煙管入れなどをご紹介します。また、細見コレクションとの共演も見どころです。

澤乃井櫛かんざしコレクションの新たな門出を祝う記念展にぜひ、お出かけください。



左)《桜花文時絵櫛》 右上)《鷺時絵櫛》 銘「法橋光琳」印「方祝」 右下)《萩時絵櫛》 銘「抱一筆(印)・昇龍齋」
すべて澤乃井櫛かんざしコレクション

澤乃井櫛かんざし美術館について

元祇園の芸妓で、後に料亭の女将として活躍した岡崎智予氏(1924-1999)の蒐集品を一括継承し、1998年4月に東京都青梅市に開館。文化が爛熟し工芸技術が最も高い水準に達した江戸後期から昭和までの櫛かんざしを主軸としたコレクションに、新たに作品・資料を加え、装身具の魅力をさまざまな角度から紹介してきた。2024年11月閉館。

— 主な出品作品 —



《蜻蛉秋草蒔絵螺鈿象牙二枚櫛》 銘「芝山」



《北斎「富嶽三十六景」写し蒔絵櫛》 銘「巨満遠舟写」



《北斎「富嶽三十六景」写し蒔絵印籠》



《洞卷文蒔絵櫛》 銘「羊遊斎」



《セルロイド櫛・簪》



結髪雛形「春信風島田」



《旭ダイヤ簪》



《文明開化飾り金銀珊瑚びらびら簪》

※すべて澤乃井櫛かんざしコレクション



細見コレクションとの共演も

《江戸風俗図巻》(部分) 山東京伝 序跋 細見美術館蔵
【展示期間：9月6日～9月28日】

— 展覧会概要 —

*会期・営業日時等を変更する場合があります。最新情報はWEBサイトをご覧ください。

展覧会名称	「寄贈記念展 澤乃井櫛かんざしコレクション —美を継ぐ—」
会 期	2025年9月6日(土)～10月13日(月・祝)
開館時間	午前10時～午後5時
休 館 日	毎週月曜日(祝日の場合、翌火曜日)
入 館 料	一般 1,800円 学生 1,300円
主 催	細見美術館 京都新聞(予定)
会 場	細見美術館 京都市左京区岡崎最勝寺町6-3 http://www.emuseum.or.jp

事前予約不要 | 混雑時は入場をお待ちいただく場合があります。



展覧会資料(画像)・取材をご希望の方は、[ホームページリリースページ](#)
もしくは左記QRコード「[資料・ご取材申込フォーム](#)」からお申込みください。

本展連絡先 細見美術館 TEL: 075-752-5555(代) FAX: 075-752-5955(代)
広報担当 大塚 kouhou@emuseum.or.jp

これからの展覧会予定

妃たちのオーダーメイド

セーヴル フランス宮廷の磁器

—マダム・ポンパドゥール、マリー＝アントワネット、マリー＝ルイーズの愛した名窯—

会期：2025年10月25日(土)～2026年2月1日(日)

特別展

志村ふくみ 百一寿 —夢の浮橋—

会期：2026年3月3日(火)～5月31日(日)

※最新情報・詳細は[WEBサイト](#)をご覧ください。